

(6) 県・市町村の連携・協働（奈良モデル）による施策推進

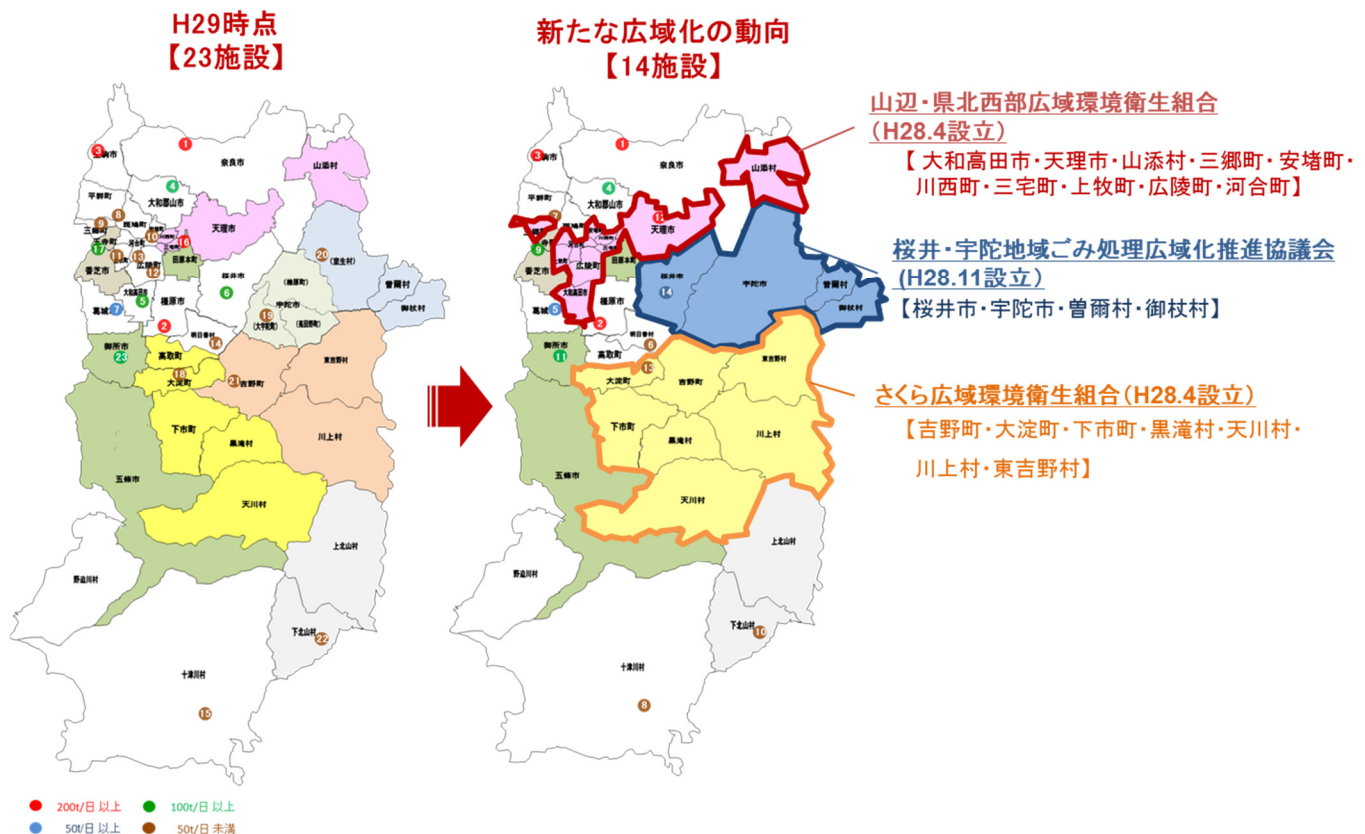
① 一般廃棄物処理の広域化

県・市町村長サミットでの検討課題である「安定的な一般廃棄物処理の継続」を継承・発展させ、奈良モデルによる一般廃棄物処理の広域化を促進し、ごみ処理の安定的な継続を確保するとともに、行財政運営の効率化を図ります。現在、県内3地域（山辺・県北西部地域、桜井・宇陀地域、南部地域）で広域化が進められており、今後も、ごみ処理施設の更新時期やごみ発生量の変化、地域特性等を考慮しながら、一般廃棄物処理の広域化のさらなる推進に向けた枠組みの検討を進めます。

また、広域化の動きに合わせ、収集運搬・施設運営面での効率化を検討・促進します。

【個別事業例】

★ ごみ処理広域化を推進する市町村への支援



② 災害廃棄物処理対策の推進（再掲）

【個別事業例】

★ 県・市町村合同の教育・訓練の実施

★ 関係機関・団体等と連携する教育・訓練の実施

★ 市町村災害廃棄物処理計画の策定・見直しの促進

○ 県・市町村等の情報共有、体制整備・更新

○ 市町村等の処理能力等を把握する相互支援データベースの作成・共有